

富山県南砺市の神社の不動明王

滝本 やすし

はじめに

富山県南砺市の神社の不動明王に関しては、尾田武雄氏により北陸石仏の会会報第66号に「お宮さんに不動明王が鎮座される」として報告されている。いくつかの不動明王については以前より移動されていることを確認していたが、他の不動明王についても調査を行い、会報第68号に報告した。会報では紙面の都合で詳細な報告ができなかった。その後の追加調査も含めて報告したい。

調査対象は「神社境内に建てられている」、「以前は神社境内に建てられていた」、「神社が祭礼等に関与している」、「以前は神社が祭礼等に関与していた」のいずれかの条件を満たす石造不動明王とした。また、神社の近くに建てられている不動明王についても確認のため調査を行った。

富山県東砺波郡旧南山見村は修験山伏が多く居住していた地域であり、砺波地方の中でも石造不動明王の造立数が特に多い。神社境内にみられる不動明王もこの地域に集中しており、隣接地域にも若干数がみられる。この地域は修験山伏が多く居住していた地域ゆえに、明治初頭の廃仏毀釈が特に強行された。その際に、山見八幡宮や井波八幡宮などでも多くの仏像が受難に遭ったと伝えられる。

この地域では、いつ頃から神社の境内に不動明王が納められたのであろうか。最初の造立地やその後の移動などについて、文献資料などをもとに、現地での聞き取り調査を行った。

① 旧井波町山見（山見村）八幡宮境外参道

近くの藪田清水に造立された。その後清水が使用されなくなったため、八幡宮境内参道へ移された。昭和初期、境内への通行の妨げになるため境外参道の現在とは別の場所へ移された。さらに昭和五十年頃、道路拡張に伴い境外参道脇の現在地へ移された。以前は山見八幡宮の山森宮司により神式祭礼が行われていたが、現在は行われていない。

木造祠内、浮彫り座像。施錠されているため銘文未確認。

② 旧井波町（山野村）岩屋 古宮（神明宮跡地）

明治初期に庄川の河原で発見され、神明宮境内へ持ち込まれたと伝えられている。明治四十二年、近隣六ヶ村の神社合祀に伴い、神明宮は山斐神社に合祀されたが、不動明王はそのまま残された。明治四十五年、神明宮の御神木であった大杉の東側に祠を建て納められた。昭和十二年、大杉の西側へ移された。さらに昭和四十八年、区画整理に伴い現在地へ移された。しかしこの言い伝えには疑問が残る。明治初期であれば、廃仏毀釈が強行された直後であり、神社境内に仏像を納めることは考えられない。神明宮が山斐神社に合祀された後に、跡地へ持ち込まれたのであろうか。

以前は神式祭礼が行われていたが、近年途絶えた。
木造祠内、浮彫り座像。銘文なし。

③旧井波町(南山見村)今里 神明宮境内

集落内の四ツ辻に造立された。明治時代の村道新設の際にも、特に移動はなかったと思われる。昭和五十三年頃、区画整理に伴い現在地へ移されたとされる。しかしこの年は区画整理の終了年であり、移動されたのはさらに十年ほど前の工事開始頃であったと考えられる。この四ツ辻は現在地の北数十メートルと考えられ、地区の住民が集う広場になっていたそうである。区画整理により、この広場は残されていない。

井波八幡宮の綿貫宮司により、神社の祭礼時に併せて神式祭礼が行われている。

石積基壇上、露座、浮彫り座像。右側面「慶應二丙寅年正月／井波石工七次郎」。

④旧井波町(南山見村)川原崎 天満宮境内

造立地不明である。昭和二十年頃には、すでに現在地付近に建てられていたそうである。昭和十七年頃に境内整備が行われており、その際に現在地付近へ移されたのではないかと考えられるが、確かな記録が残されていない。また昭和四十七年頃の道路拡張に伴い再び境内整備が行われたが、その際に移動があったのかも不明である。それ以降の移動は確認されない。

井波八幡宮の綿貫宮司により、神社の祭礼時に併せて神式祭礼が行われている。

石積基壇上、露座、浮彫り座像。左側面「明治十三年辰三月」。

⑤旧井波町(南山見村)谷 大森神社境内

現在地から数十メートル西の、大森神社の境外参道入口付近に造立された。昭和五十年頃、区画整理に伴い現在地へ移された。井波八幡宮の綿貫宮司により、神社の祭礼時に併せて神式祭礼が行われている。

石積基壇上、露座、浮彫り座像。右側面「明治二十年八月建」。

⑥旧井波町(南山見村)連代寺 路傍

現在地から二十メートルほど西の矢於留神社の旧境外参道脇に造立された。矢於留神社からは二百メートルほど北に離れた場所である。昭和三十四年、区画整理に伴い現在地へ移された。

井波八幡宮の綿貫宮司により、神社の祭礼時に併せて神式祭礼が行われている。

木造祠内、浮彫り座像。右側面「明治廿一年十一月■」。

⑦旧井波町(南山見村)東城寺 八幡社境内

集落南の山中に造立された。この場所は明治十一年に現在地へ遷座された八幡社の跡地付近である。その後、八幡社の境内東側へ移され、さらに境内整備に伴い境内西側の現在地へ移された。

井口神明宮の井頭宮司により、神社の祭礼時に併せて神式祭礼が行われている。

石積基壇上、露座、浮彫り座像。右側面「明治廿八年乙未三月建之／作者森川栄次郎」。

⑧ 旧井波町(南山見村)沖 神明社境内

現在地から二十メートルほど西の、神明社の境外参道脇に造立された。神社裏手を大きく蛇行して流れる河川が頻繁に氾濫することから、昭和五十年頃に神社の前を直行する工事が行われた。それに伴い、現在橋が架かっている位置に建てられていた不動明王は現在地へ移された。その際、境内の入り口に建てられていた社号標石と共に、石積基壇上に並べられた。

以前は院瀬見の浄土真宗本願寺派善休寺により仏式の講が行われていたが、現在行われていない。

石積基壇上、露座、浮彫り座像。左側面「明治二十九年九月建之子供連田」。裏面「森川作」。

⑨ 旧福野町(広塚村)石田 立山社境内

近くの路傍に造立され、その後現在地へ移されたとされるが、確かな記録を確認できない。現在地から二十メートルほど北に広場があったが、この場所ではないかと考えられる。浄土真宗本願寺派空泉寺の参道入口であるが、空泉寺はこの不動明王に関与していないそうである。

現在は祭礼や講などは行われていない。

石積基壇上、露座、浮彫り座像。正面下部「願主高崎藤三郎」。左側面「大正五年十二月二十四日建之／世話方惣連中／■成■」。

⑩ 旧福野町(高瀬村)雨潜 神明宮境内

造立地不明である。移動されているが、詳細は不明。

寺家日吉社の渡貫宮司により、神社の祭礼時に併せて神式祭礼が行われている。

木造祠内、一石一尊の不動三尊。不動明王は浮彫り座像、脇侍二体は浮彫り立像。不動明王の裏面に俳句。制吒迦童子の左側面「石工金屋／栄次郎」。衿迦羅童子の裏面「慶應二丙／寅季夏」。

⑪ 旧福光町(北山田村)高畠 公民館駐車場

造立地不明である。以前は諏訪社の境内に建てられていたが、いつ頃から諏訪社の境内に建てられていたのか不明である。平成三十年頃、現在地へ移された。

祭礼や講などが行われているのかは不明。

石積基壇上、露座、浮彫り座像。右側面「明治三十七年四月建之／世話方若連中／上ハナ石工岩城竹吉」。

おわりに

旧井波町(山野村)高屋の神明社跡地と旧井波町(山野村)軸屋の神明社跡地にも石造不動明王がみられるが、いずれも神社が現在地へ遷座された後に不動明王が造立されている。すでに神域ではなくなっていた。これらは近隣の寺院により開眼法要が行われ、その後の講も行われており、神社の関与はみられない。

旧井口村川上中神明社の石段脇に不動明王が建てられているが、この場所は集落共有地であり、神社は不動明王に関与していない。蛇喰の浄土真宗本願寺派正覚寺により、仏式の講が行われている。旧城端町(箕谷村)西明の西明神社近くにも不動明王が建てられているが、こちらは西明の真宗大谷派浄円寺により仏式の講が行われている。神社の関与はみられない。

南砺市には他にも神社近くに建てられている不動明王がいくつかみられるが、神社が関与しているものは他に確認していない。神社が関与していない不動明王については、真宗寺院によって講が行われている事例がいくつもみられる。近隣地区に真言系の寺院がないこともその理由であるが、この地域特有である。

神社の境内に建てられている不動明王は、おそらく全てが後に他所から移されたものであり、その主な要因は区画整理であった。当初は各地区の路傍の主要箇所建てられ、人々の往来を見守っていたのであろう。仏像である不動明王を神社境内へ移したのはこの地域の人々に修験山伏の魂が受け継がれていたからではないだろうか。

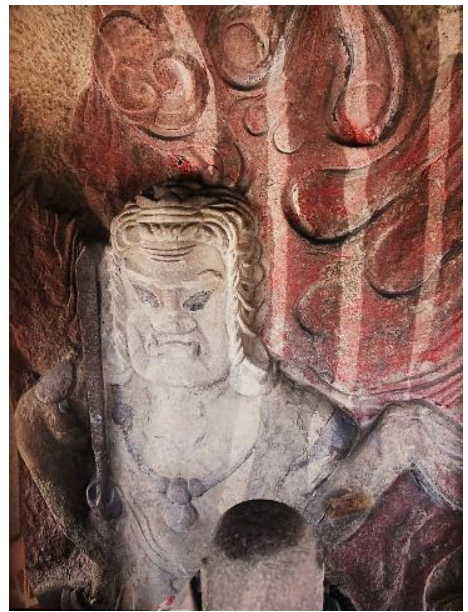
旧南山見村に造立された六例をみると、山見村(現在の井波市街)に近い地区から順に不動明王が造立されている。「隣の地区が不動明王を建てたから、私達も建てた」と言い伝えられている。それが連鎖して東から西へと順番に広まっていったようである。神社境内へ移された順番はまちまちで、川原崎天満宮が最も早いのではないかと考えられる。

参考資料

- 『井波の石仏とお堂 第一集』井波町教育委員会
- 『井波の石仏とお堂 第二集』井波町教育委員会
- 『日本の石仏第96号』日本石仏協会より「神社に坐る不動明王たち」西田栄一
- 『北陸石仏の会会報第66号』より「お宮さんに不動明王が鎮座される」尾田武雄
- 『南砺市郷土Wiki』



②岩屋 古宮(神明宮跡地)



①山見 八幡宮境外参道



③今里 神明宮境内



④川原崎 天満宮境内



⑤谷 大森神社境内



⑥連代寺 路傍

⑦東城寺 八幡社境内



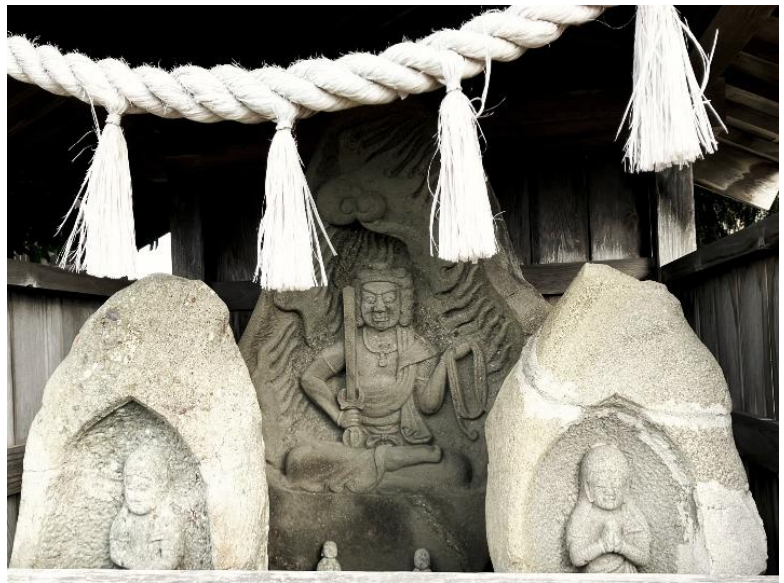
⑧沖 神明社境内

⑨石田 立山社境内





⑩雨潜 神明宮境内



⑪高畠 公民館駐車場